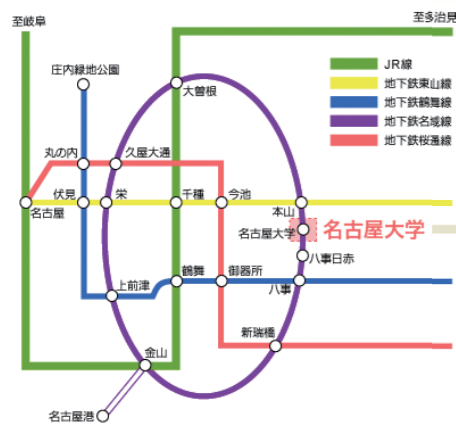


シンポジウム 2015



■名古屋大学へのアクセス

名古屋駅より地下鉄東山線(藤が丘方面)に乗りし、
本山駅で乗り換え。
本山駅から地下鉄名城線(右回り)に乗りし、
名古屋大学駅で下車、1番出口へ。



■国際開発研究科へのアクセス

地下鉄名城線名古屋大学で下車し、1番出口に向かう
上記地図のルート1(南玄関ルート)かルート2(北玄関ルート)に沿って進む。
(はじめて来られた方には、ルート1の方がわかりやすい。)
シンポジウム会場は、国際開発研究科棟の8階のオーデトリウム

- 主 催: 東アジア環境政策研究会: <http://www.reeps.org/index.html> / 環境経済・政策学会
- 共 催: 名古屋大学大学院国際開発研究科・名城大学経済学部
- お問い合わせ: 李秀澈 slee@meijo-u.ac.jp / 藤川清史 fujikawa@gsid.nagoya-u.ac.jp



本研究はJSPS科研費(A)25241030(代表:李秀澈)の助成を受けています。

東アジアの持続可能な 低炭素経済に向けて

—エネルギーシステム、エネルギー税制、政策協調のあり方—

環境経済・政策学会 20周年記念シンポジウム

9月17日(木) 13:00~18:00

名古屋大学大学院国際開発研究科 8階
【多目的オーデトリウム】

地下鉄名城線「名古屋大学駅」下車①番出口

シンポジウムプログラム [13:00~18:00]

英語の講演は
日本語要約あり

司 会：藤川清史(名古屋大学国際開発研究科)

開会挨拶：李秀澈(名城大学経済学部)

シンポジウムの概説「東アジアの持続可能な未来に向けたエネルギーシステムとエネルギー税制改革」

開会挨拶



李秀澈

名城大学経済学部教授

ソウル大学農学部を卒業。京都大学大学院経済学研究科博士後期課程修了。博士(経済学)。韓国全経連経済調査チームリーダー、名古屋学院大学助教授を経て、2005年から現職。専門は、環境経済学、環境政策学。

司 会



藤川清史

名古屋大学大学院国際開発研究科教授

神戸大学大学院経済学研究科博士後期課程修了。博士(経済学)。国連統計局、甲南大学などを経て、2007年より現職。専門は、計量経済学、環境経済学。

東アジアにおける持続可能なエネルギーシステムと電源選択

第1部

東アジアの電源選択と環境・経済効果 ■小川祐貴(京都大学大学院地球環境学舎) ■李秀澈(名城大学経済学部)
気候変動政策下でのエネルギー安全保障 ■松本健一(滋賀県立大学環境科学部)

東アジアの持続可能な低炭素経済に向けたエネルギー税制改革

第2部

東アジアのエネルギー税制改革の環境・経済効果 ■朴勝俊(関西学院大学総合政策学部)
エネルギー税制改革と人的資本の形成 ■李態妍(龍谷大学経済学部)

エネルギー税制改革と国際競争力措置

第3部

エネルギー税の競争力効果とカーボンリーケージ ■HECTOR POLLITT (Cambridge Econometrics)
東アジアにおける自由貿易の環境・経済影響 ■伴ひかり(神戸学院大学経済学部) ■藤川清史(名古屋大学国際開発研究科)

パネルディスカッション・質疑応答 [16:30~18:00]

日本・中国・韓国・台湾の役割

第4部

司 会 ■藤川清史:名古屋大学国際開発研究科
パネリスト ■高村ゆかり(名古屋大学) ■芦名秀一(国立環境研究所) ■劉憲兵(IGES)
■羅星仁(広島修道大学) ■陳禮俊(山口大学) ■JEAN-FRANÇOIS MERCURE(4CMR)

S Y M P O S I U M 2 0 1 5

講演者

パネリスト



小川祐貴

京都大学大学院在籍中

京都大学経済学部卒業後、京都大学大学院地球環境学舎修士課程修了、2015年より、京都大学大学院地球環境学舎 地球環境学専攻博士後期課程地球環境学専攻に在籍中。



李態妍

龍谷大学経済学部教授

大阪市立大学大学院経済学研究科後期博士課程修了。博士(経済学)。北九州大学経済学部助教授、龍谷大学経済学部准教授を経て、2013年より現職。専門は、環境経済学、公共経済学。



高村ゆかり

名古屋大学大学院環境学研究科教授

京都大学法学部卒。一橋大学大学院法学研究科博士後期課程単位修得退学。静岡大学助教授、龍谷大学教授などを経て、2011年より現職。専門は国際法・環境法。



羅星仁

広島修道大学環境学部教授

京都大学大学院経済学研究科博士後期課程修了。博士(経済学)。広島修道大学環境学部助教授を経て、2007年より現職。専門は環境経済学、環境政策学。



松本健一

滋賀県立大学助教

早稲田大学修士課程修了。修士(工学)。関西学院大学大学院総合政策研究科修了。博士(総合政策)。国立環境研究所を経て、2011年より現職。専門は環境経済学、環境・エネルギー政策。



HECTOR POLLITT

(ヘクター・ポリット)

Director of International Modelling at Cambridge Econometrics.

ケンブリッジエコノメトリクスでのグローバルE3MEモデルの管理責任者、同ディレクター、EUの2020年GHGターゲットの策定、UNFCCCのモデルインベントリーにも参加。



芦名秀一

国立環境研究所社会環境システム研究センター 持続可能社会システム研究室主任研究員

東北大学大学院工学研究科修了。博士(工学)。2006年より国立環境研究所にて勤務し、2014年より現職。専門は機械・システム工学。



陳禮俊

山口大学経済学部教授

京都大学大学院エネルギー科学研究科博士後期課程修了。2009年より現職。専門は環境経済学、環境財政政策論、エコツーリズム論、また、E3MG-Asiaモデル分析を用いた台湾のエネルギー政策分析。



朴勝俊

関西学院大学総合政策学部大教授

神戸大学大学院経済学研究科博士後期課程修了。博士(経済学)。京都産業大学経済学部准教授を経て、2010年度より現職。専門は環境経済学、環境政策学。



伴ひかり

神戸学院大学経済学部教授

神戸大学大学院経済学研究科博士後期課程修了。博士(経済学)。神戸学院大学経済学部講師、准教授を経て、2008年より現職。専門は国際経済学、経済政策学。



劉憲兵

地球環境戦略研究機関(IGES) 関西研究センター主任研究員・タスクマネージャー

1997年中国天津大学大学院修士課程修了(環境工学)、2007年岡山大学自然科学研究科博士課程修了(学術博士)。中国環境保護省科学技術・標準局を経て、2007年より現職。研究分野は環境管理及びエネルギー・気候変動に関する政策分析。



JEAN-FRANÇOIS MERCURE

(ジャン・フランソワ・メルキュール)

Cambridge Centre for Climate Change Mitigation Research (4CMR), 上級研究員

専門はグローバル経済のマクロ計量モデル。現在の研究は、温室効果ガス予測のための電源選択、産業技術変換などセクター別技術選択モデル(FTT)の開発